

事務事業名		分収林造林事業(上村)			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	18	終了	28
H27担当課等名	林務課	H27係等名	林業振興係		H26係等名	林業振興係								
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり											
目的	対象(誰・何を)	市有林(上村地区)			対象指標	指標名及び単位			26年度数値					
	意図(どういう状態にするか)	出荷額等を高める活動をする。森林総合研究所(旧緑資源機構)との長期保育施業契約により健全な森林作りを行う。				森林総合研究所との契約面積(ha)			560					
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)												
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)					
	成果指標	施業面積(ha)			49.96	49.96	50	55						
	定性目標													
事業概要	森林総合研究所(旧緑資源機構)との分収造林契約に基づいて市有林の保育施業を行う。													
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標					
	分収造林契約に基づき除伐作業を行い、森林の健全な育成を図る。 (1)岩洞1団地 (2)コスマ2団地① (3)コスマ2団地②				(1)岩洞1団地 除伐(Ⅱ)事業 (2)コスマ2団地 除伐(Ⅱ)事業 (3)コスマ2団地 生物害防除				(1) 5.63ha (2) 23.25ha (3) 21.08ha					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足								
事業費計(千円)①		22,433	5,288	3,416	7,120	(そ)諸収入(分収造林受託事業収入)								
国庫支出金														
県支出金														
起債														
その他		22,433	5,288	3,416	7,120									
一般財源														
人件費計(千円)②		358		358										
正規職員所要時間		100		100										
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		22,791	5,288	3,774	7,120									
事業内容・目標達成状況の振り返り	当初予定の4団地のうち年度内完了は1団地であったが、残りの3団地についても25年度繰越で実施した。森林総合研究所からの予算確定が冬期になると、積雪と重なり、着手が不可能になるため、早い時期での確定を要望している。													
改革改善の考え方	①問題点	国の施策により事業費の大幅な変動を受けやすく、毎年のように補正対応を行ない実施している。												
	②改革提案	森林総合研究所との連携を強く図り、国の動向を把握しながら事業実施を図る。												